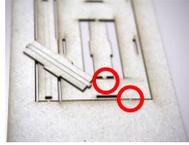




～ご用意ください～

- ・デザインナイフ
- ・クラフトボンド
(木工ボンドと爪楊枝)
- ・ピンセット
- ・カッターマット

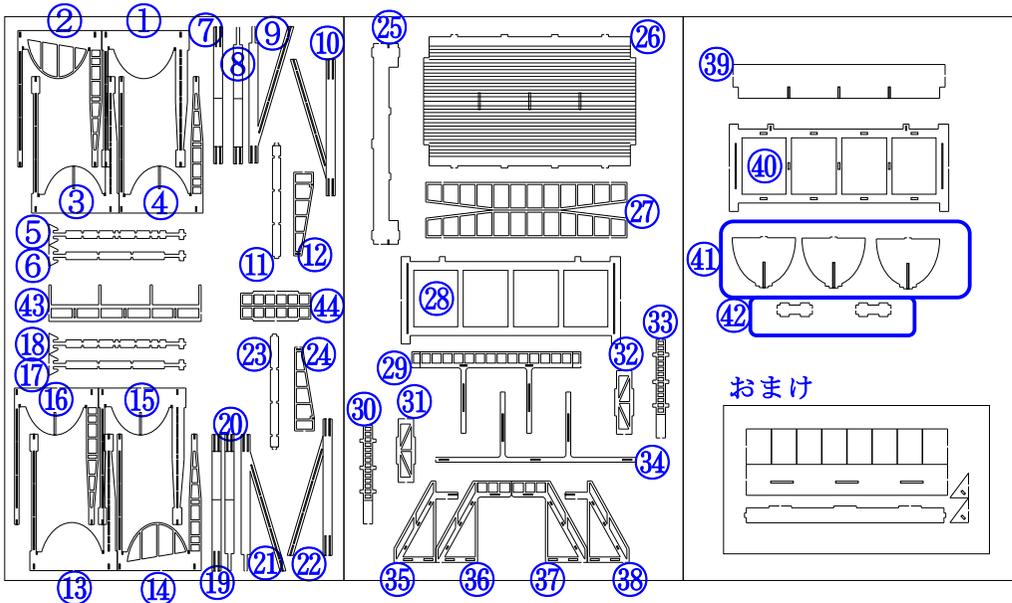


部品は、写真赤丸の様に、
数カ所で留まっています。
光に透かしますと、分かり
易いです。

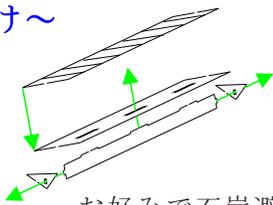
組立前に必ずお読みください

- ・部品はデザインナイフ等で丁寧に切り離してください。
- ・接着は(木工ボンドを爪楊枝で)接合面に載せる様に塗布します。
このとき、ボンドの水分で紙が柔らかくなり差込みづらくなるのを防ぐ為、
なるべく凹部分に塗布するようにします(凸部分を避けて塗布します)。
- ・接着した部品を剥がすのは困難です。説明書を参考に全体の流れを理解した上で
慎重に接着していくようにしましょう。

部品番号表



～おまけ～



お好みに石炭避けのガードにお使いください

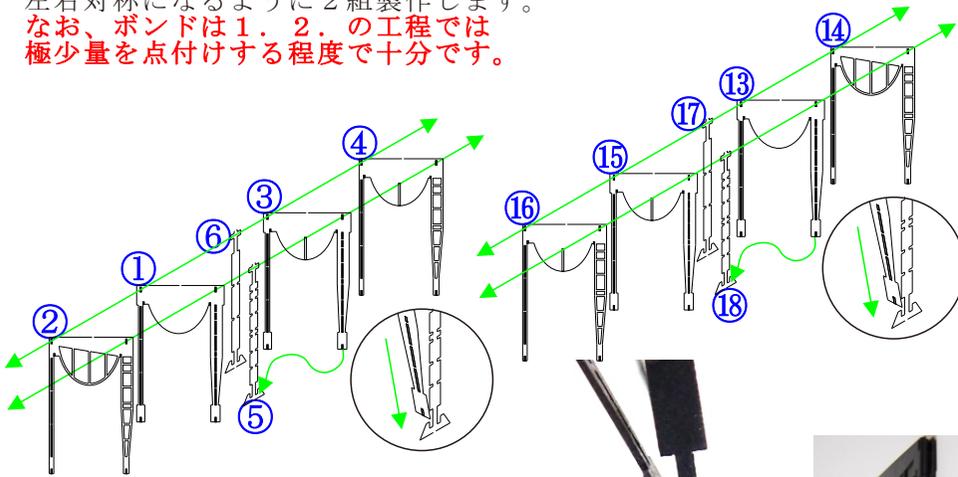


⚠️ アドバンスペーパーキットについて

- ・カラー硬質紙をレーザーカットしており、加工時に切断面に焦げや煤が付着します。
- ・焦げ・煤が原因で指が汚れたり、焦げ臭い場合もありますが予めご了承ください。
- ・未切断や抜け残しがありましたらデザインナイフ等で取り除いてください。

組立説明書

脚から製作していきます。
左右対称になるように2組製作します。
なお、ボンドは1. 2. の工程では
極少量を点付けする程度で十分です。



1. まず、①に⑤⑥を差し込みます。

このとき脚先端部分の凹凸をはめてから、下から上に差込んでいくとスムーズです。

2. つづいて、同様に③②④の順番で差込んでいきます。



3. 部品⑦⑧は太い方の柱の側面に接着します。
⑦⑧に膨らんでいる線に合わせ軽く曲げて、⑦外側に⑧は内側に差込み接着します。
⑦⑧は上下があります。
⑦は写真赤線に折れ線がきます。
⑧は凸が上になります。



4. 次に部品⑨を細い方の柱の内側に差込み接着します。
写真赤丸部分側になるように向きに注意します。

5. 部品⑪を差込み⑩を接着します。
⑪の上下にご注意ください。



6. 部品⑫を接着して1脚完成です。

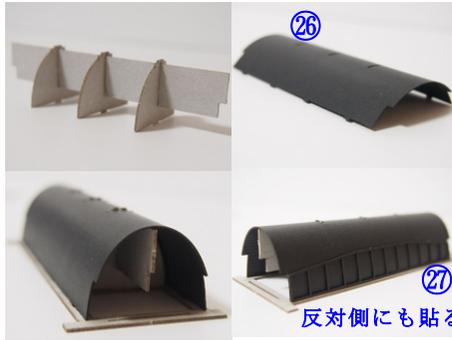


7. 同様に、⑰⑱に⑬⑮⑭⑯を差込み、太い方の柱の外側に⑲を、内側に⑳を差込み接着します。
細い方の柱の内側に㉑を差込み接着し、㉒を差込み㉑を接着します。
部品㉓を接着して完成です。

※部品㉑の向きに注意！（対称に）

～槽を製作していきます～

8. 部品③⑨に④を3枚差し込み接着します。
9. 次に、部品②⑥に曲げ癖をつけます。
溝が掘ってある側を内側になるようにしてパイプ等の丸いものに当てながら徐々に曲げていきます。
10. 8で製作した部品に④を接着します。
ボンドが乾いてから曲げ癖をつけた②⑥を接着します。



11. 左右の側面に部品②⑦を接着します。
12. 製作した脚と槽を合体させます。
写真赤丸部分の凸に一致する方向で差し込んで接着してください。
脚を差し込む際に、内側(部品③④)もしくは⑮⑯)をデザインナイフやピンセット等で軽く押しとしっかり差し込めます。
写真赤丸部分も差し込み接着します。



13. 部品④③を接着します。
凸が太い脚側になるようにします。
14. 部品②⑧を接着後に④④を両端に差し込み接着します。
塗装しない場合は黒マジック等で④④の淵部分を塗ると見栄えがします。



～作業台を製作します～

15. まず部品③④に②⑤と③①③②を差し込み接着します。
16. 部品②⑨の両端を曲げて、15.で製作した部品に差し込み接着します。
17. 階段を製作します。
左右対称になるようにします。



事前に③③③を曲げておきます。
部品③⑤③⑧にそれぞれ③③③、④④④を差し込み接着します。
このときハシゴ(写真赤丸部分)のみにボンドを塗布します。



18. 17.で製作した部品と16.の部品を凹凸に合わせて差し込みます。
それぞれ③⑥③⑦を貼り付けます。
写真赤丸部分を、全体の水平を確認しながら接着します。



太い柱側に置いて完成です。

